

西日本豪雨で甚大な被害に襲われた倉敷市などで、子どもを一時的に預かる取り組みが増えている。自宅の片付けなど生活再建に追われる保護者の

ニーズは高く、被災で生活が一変した子どもの見守りにもつながっているようだ。主な事業を紹介する。

(石井聡)

子ども預かり支援拡大

被災した子どもを預かる倉敷市などの取り組み

場所	対象	時間	問い合わせ先 (市外局番はいずれも086)
14カ所の保育・認定こども園 (日祝日は5カ所)	0~5歳児	朝から夕方(園によって異なる)	市保育・幼稚園課 (426-3311)
岡田、藪、二万幼稚園(土日祝日は岡田幼稚園)	3~5歳児(土日祝日は小学3年生まで)	午前8時~午後6時 (土日祝日は午後2時まで)	市保育・幼稚園支援室 (426-3367)
長尾、船穂、穂井田小学校区などの放課後児童クラブ	小学生	朝から夕方(クラブによって異なる)=日祝日休み	市子育て支援課 (426-3314)
県立大の「チュッピーひろば」	0歳~小学校低学年 (高学年は要相談)	午前9時半~午後4時 =8月は日曜休み	県子ども未来課 (226-7348)
真備公民館二万分館	0~2歳児	午前10時~午後3時 (8月は午前9時~午後4時予定)	市子育て支援センター (080-2300-3600)

※いずれも原則、予約が必要。電話は午前9時ごろから午後5時ごろまで。被災者は無料

倉敷、総社

放課後クラブや幼稚園



緊急開設した放課後児童クラブでおやつを食べる児童
=玉島公民館長尾分館

豪雨による堤防の決壊で、長尾小学区では「まびひ水没したり、避難所になった。よっこりおもしろおたからたりしたこと、倉敷市真クラブ」と銘打ち、地元のい切り遊べるから楽しい」

備町地区では、放課後児童放課後児童クラブが玉島公クラブ(学童保育)が休止、民館長尾分館(同市玉島長尾(同市玉島長尾)、船穂人前後の児童が訪れ、支援田(同市船穂町船穂)、穂井員と一緒にブロック玩具で学校区のクラブが、被災しりして過ごしている。川辺小2年男児(8)は

「避難所で遊んでいたら大人に怒られた。ここでは思い切り遊べるから楽しい」と笑顔を見せた。

真備町地区では5カ所の保育施設が浸水し、通っていた子ども計約390人の受け入れ先確保が課題となっている。市教委は岡田(同市真備町岡田)、藪(同市真備町市場)、二万(同市真備町上二万)の3幼稚園で、被災した3~5歳児を一時預かる事業を実施。市も市内14カ所の保育・認定こども園で、0~5歳児を保育する事業を展開している。

真備公民館二万分館(同市真備町上二万)では、0~2歳児を預かる取り組みを市子育て支援センターが行い、県は県立大(総社市窪木)で0歳から小学校低学年(原則)を預かっている。いずれの事業も、被災者の状況に応じて内容を柔軟に変えており、利用前には電話などでの確認が必要だ。